

奈良県工業振興センター 令和8年度活動方針

1. 基本理念

奈良県の地域産業を支える製造業への技術支援を通じて、地域経済の発展に寄与する。

2. 基本方針

製品の高付加価値化や、生産性・品質の向上につながる研究開発に取り組む。また、その成果の技術移転を図るとともに、技術相談への対応を通じた支援を行う。

3. 活動の枠組み

① 研究開発

新製品やサービスの開発、生産、品質管理など、ものづくりにおける技術課題を対象に研究開発を実施する。

② 技術移転と普及

研究開発で得られた成果は、発表会やセミナー、報告書や刊行誌、学会などを通じて公開し、県内製造業への技術移転に取り組む。

③ 技術相談や機器の開放

ものづくりにおける様々な技術課題に関する相談を受け付け、解決に向けた支援を行う。また、保有する試験・分析機器を開放し、高度な技術データの獲得を支援する。

④ 広域連携や産学官連携による技術導入

広域連携や産学官連携を通じて、外部機関や大学からの技術導入を推進する。

4. 目標設定

上記の基本方針のもと、最新の技術動向や企業ニーズを反映した活動目標（アウトプット）を定める。令和8年度の活動目標ならびに年間目標値を次に示す。

目的	活動目標	目標値(R8)
製品の高付加価値化	① 脱炭素社会を支える製品の開発支援 ・「環境・機能性材料分野」における研究開発件数 ・「化学分析技術セミナー(仮称)」の開催	5 件 2 件 のべ6 名
	② 奈良の素材や地域特性を活かす地域ブランド製品の開発支援 ・「バイオ・食品や繊維・毛皮革分野」における研究開発件数	6 件
	③ 広域連携や産学官連携を通じた技術導入支援 ・広域連携・産学連携の情報交換会参加数	14 件

目的	活動目標	目標値(R8)
生産性・品質の向上	④ デジタル活用によるものづくり支援 ・「情報・機械分野」における研究開発件数 ・「デジタル、製造・加工セミナー(仮称)」の開催	5 件 1 件 5 名
	⑤ 製品トラブルやクレーム対応への技術サポート ・製品等に関する技術相談件数	3,500 件

※上記のほか、令和8年度が終了した後の1年間における短期成果目標（アウトカム）、ならびに3年間における中期成果目標は別途定める。

5. 研究開発テーマ

活動目標（アウトプット）に定める研究開発として、令和8年度にセンターが主体となり実施するテーマは次のとおり。

「環境・機能性材料分野」 5件

- プラスチック系複合材料の材料強度評価
- 工場内環境データの計測とEMC対策
- 次世代多孔性材料の活用に関する研究
- 竹を用いた環境に優しい抗菌性プラスチックの開発
- 金属等による抗菌・抗ウイルス材料に関する研究

「バイオ・食品や繊維・毛皮革分野」 6件

- 生薬の医薬品以外の部位を食品に利用するための加工技術の開発
- 機能性醸造食品の開発
- 奈良産の発酵食品等から分離した乳酸菌の健康機能性の評価と有用菌株の取得
- 微生物を用いた機能性フラボノイド生産基盤技術の開発
- 飼育鹿革と駆除鹿革の物理特性に関する研究
- 素材と編構造の違いがソックスの吸水速乾性及び透湿性に及ぼす影響について

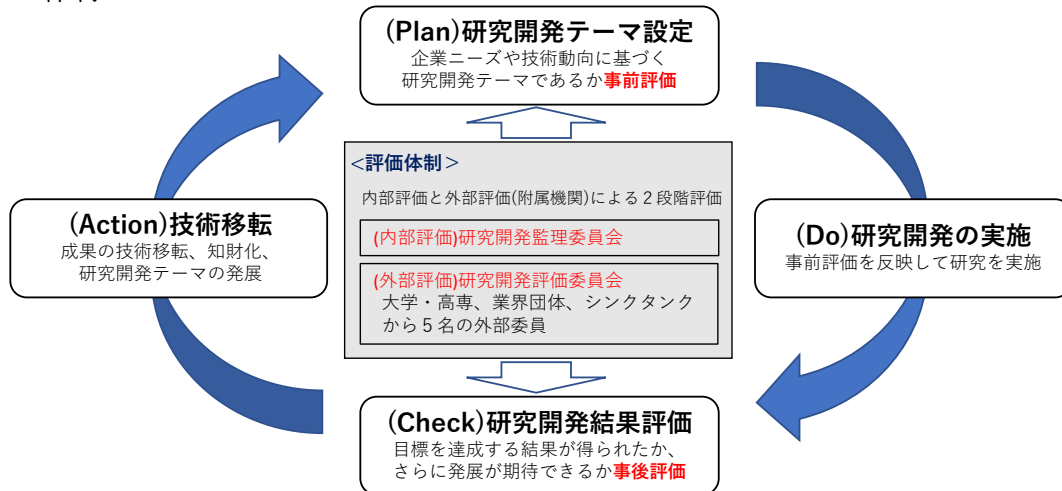
「情報・機械分野」 5件

- 各種センサーを活用した草履の歩行特性把握に関する研究
- デジタル技術を活用した作業環境等の再現に関する研究
- 機械学習を用いた加工条件最適化に関する研究
- 多様な環境条件下に対応した画像解析技術の最適化に関する研究
- 超音波加工機を用いたセラミックスの加工に関する研究

6. PDCA サイクルの運用

活動目標の達成状況ならびに、研究開発におけるテーマ設定や成果の評価について、次に示す内部評価と外部評価を併用した評価体制で点検を行い、PDCA サイクルによる運用を行う。

<体制>



7. その他

本活動方針は、技術動向や企業ニーズの変化にしたがって、適宜見直しを行う。